

新国立競技場のシステム等関連整備に関する検討委員会（第6回）  
議事概要

- 開催日時 平成29年9月29日（金）10:30～13:00
- 開催場所 日本スポーツ振興センター（JSC）本部事務所 A棟3階 大会議室1
- 出席者 山内委員長、前田委員長代理、清須美委員、上代委員、間野委員
- 議事概要

(1) システム等関連整備の進捗状況について

事務局より、資料に基づき、システム等関連整備に係る資料1-1の資料提供招請結果を踏まえた個別検討結果について報告の後、意見交換が行われた。

委員からの意見を踏まえ、新国立競技場に求められる最適な機能・性能における課題及び整備範囲とその費用対効果について、引き続き検討を進めるとともに、資料1-2に記載の整備の対象とするシステムについては、スケジュールに間に合うよう調達に向けて準備を取り進めていくこととされた。

（主な意見）

○ネットワーク基盤関連設備グループ

＜Wi-Fi＞

- ・ 費用の削減という観点だけではなく、将来的にWi-Fiの使用率が高まる可能性を考慮した設置数とした方がよい。
- ・ 生体認証、顔認証でクレジットカードと連携させて決済するというような新しい技術が数年以内に導入される可能性など、将来的なことを考え通信容量を検討した方がよいのではないか。

○映像・音響関連設備グループ

＜デジタルサイネージ＞

- ・ 事業者が活用することにより、収益を上げることが見込める設備であると考えられる。海外の事例も参考にしたらよいのではないか。
- ・ 設計によって価格は下がるかもしれないし、デジタルサイネージの表示内容や来場者数によって活用方法を考えれば、活用の可能性が大きいのではないか。
- ・ 他施設における主な導入理由は、多言語対応、非常時の問題、通常時における量的な問題に対する情報の出し方、UD対策という非常に大きなところにある。それに対して導入数を決めておくということは必要。

○セキュリティ関連設備グループ

＜監視カメラ＞

監視カメラはAIのようなものを装備して不審な動きをしている人を検知するといったシステムが近いうちに出てくるであろう。そのような性能が製品化された場合、機能の追加が容易にできるようにすればよいのではないか。

## (2) 新国立競技場における什器・備品について

事務局より、資料に基づき、新国立競技場における什器・備品について、ホスピタリティエリアの什器・備品の考え方及び寄附の考え方について説明を行い、意見交換が行われた。

今後、什器・備品の調達に当たり、選定方針について引き続き検討していく旨を確認した。また、調達における公平性も考慮に入れながら、どのような対応ができるのかについて引き続き精査していくこととなった。

### (主な意見)

#### ○ホスピタリティエリアの什器・備品の考え方について

- ・レガシー時における貴賓室については、使用者、用途を考慮した什器・備品を選定した方がよい。
- ・ホスピタリティエリアの什器・備品の選定においては、内装デザインと一体的に考える必要があるため、本体工事設計者の考え方を十分に反映する必要がある。

#### ○什器・備品の寄附の考え方について

- ・寄附を受け付けた場合、同一品目を複数寄せられたときの選定方法など、いくつか懸念点も考えられる。
- ・本体工事以外の現金の寄附はぜひやっていただきたい。
- ・寄附の受入れについては、現物の場合は受入れが難しいケースも考えられるため、現金だけに限定した方がよいのではないか。

以上